

令和4年度

「ゼロカーボン北海道」実現に向けた取組

～ 2030年度までの48%削減、
2050年までの“実質ゼロ”に向けて ～



ZERO CARBON
HOKKAIDO

< 令和4年度の取組ポイント >

- 市町村の脱炭素化に向けた取組を進捗に応じて支援
- CO₂排出量の見える化により、道民・事業者の脱炭素化の意識醸成や行動変容を促進
- 道自らも庁舎のZEB化や次世代自動車導入を推進

「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、道は2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で48%削減を目指すこととしています。

2050年までのゼロカーボンに向けた道筋を構築し、道民、事業者の皆様と認識を共有し、気運醸成や行動喚起を図るため、道は、「7つの柱」を軸に、地域の脱炭素化と経済の活性化、レジリエンス向上の同時達成に取り組めます。

【取組の7つの柱】



(※) 3 / 29 に計画決定

【7つの柱と主な取組】

柱	主 な 取 組
地域の脱炭素化 推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の計画策定や地域協議会の立ち上げ・運営支援 ・市町村や民間等が連携した新エネの取組を支援 ・地域特性に応じたゼロカーボンの推進 など
道民・事業者への 働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・CO₂排出量の「見える化」による行動変容の促進 ・住宅の省エネ性能向上の推進 ・民間事業者の脱炭素の取組への表彰 など
農林水産業の排 出源・吸収源対策	<ul style="list-style-type: none"> ・有機農業、クリーン農業の促進 ・活力ある森林づくりの推進、道産木材の利用促進 ・ブルーカーボンに資する取組支援 など
条例・計画の 見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボン北海道実現のための枠組みの構築
道有施設・設備の 脱炭素化	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎への再エネ導入、ZEB化の推進 ・公用車の次世代自動車化の推進 など
産学官による 研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産分野等の温室効果ガス削減に向けた調査 ・森林吸収量の増加手法の研究 ・北方型住宅の普及やZEHの技術開発 など
適応の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道気候変動適応センターによる情報発信、助言等 ・地域の適応の取組促進 など

目 次

I	地域の脱炭素化の推進	4
II	道民・事業者への働きかけ	9
III	農林水産業の排出源・吸収源対策	14
IV	計画・条例の見直し	17
V	道有施設・設備の脱炭素化	18
VI	産学官による研究開発	20
VII	適応の取組	22
参考	「グリーン」×「デジタル」の取組	23

I 地域の脱炭素化の推進

- 地域特性を活かした脱炭素化の取組をソフト・ハード両面から重層的に推進

(1) 地域の取組の推進

■ 新地域脱炭素合意形成支援事業

【環境生活部 予算額：55,529 千円】

市町村の脱炭素化を促進するため、専門人材等を派遣し、地域状況に応じた計画策定や合意形成等支援を行い、その成果を水平展開

- 地域の知見向上

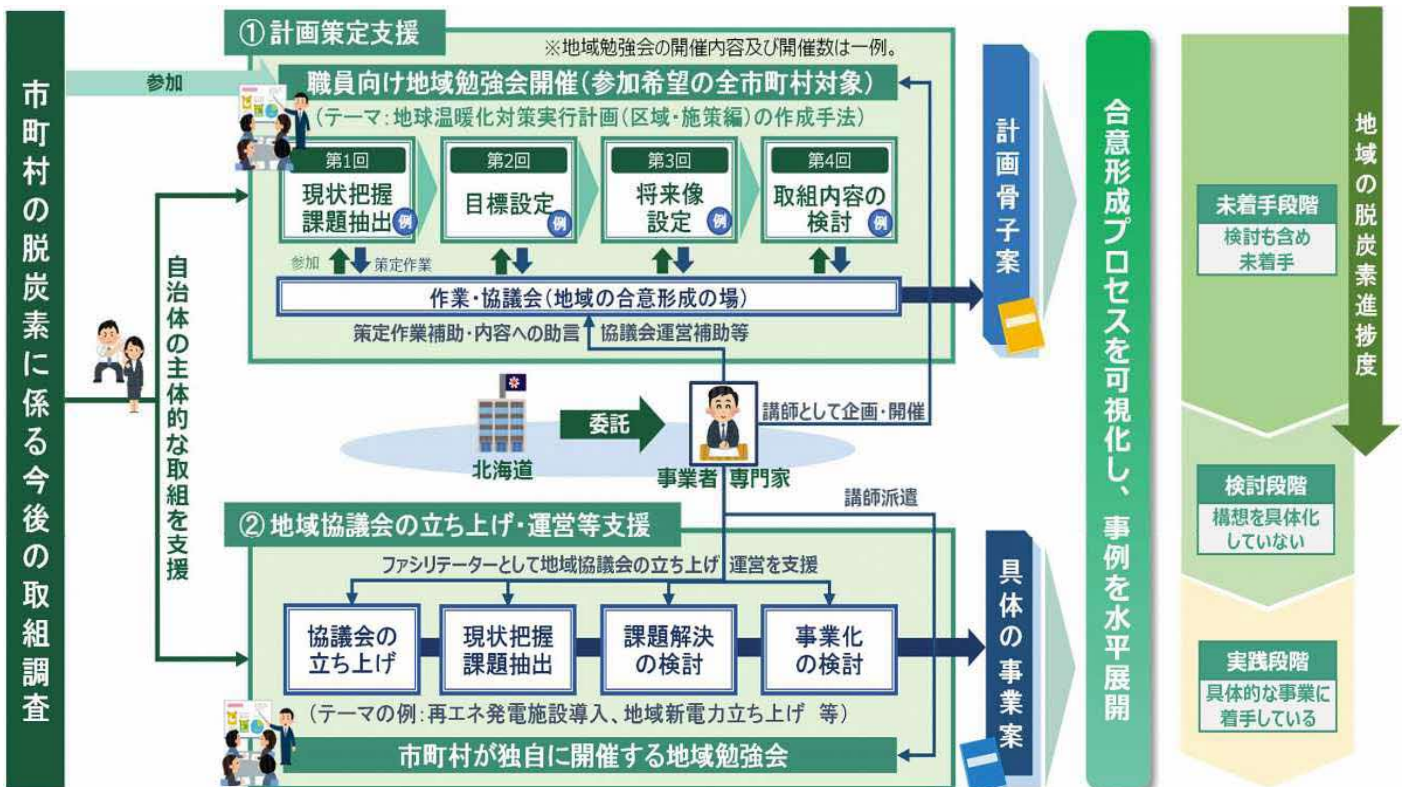
地域脱炭素に向けた知見向上のための勉強会、関係者との連携に向けた交流会の開催

- 計画策定支援

地域の特徴と課題を踏まえた脱炭素化の方向付け及び実行計画（区域施策編）策定支援

- 合意形成支援

地域協議会の立ち上げや専門人材を派遣し、自治体や地域が主導する地域協議会の運営等支援



■ **新**ゼロカーボン地域プロジェクト支援事業

【経済部 予算額：355,000 千円】

ゼロカーボン北海道の実現を目指し、市町村や企業等が連携し地域のレジリエンス向上となる自立分散型エネルギーシステムや地域マイクログリッドの導入などに対し支援

北海道ゼロカーボンモビリティ

【官民一体となったV2Xシステムの導入加速化】

市町村と企業が連携して、各施設に新エネ発電設備や電気自動車、定置型蓄電池などで構成する**自立分散型エネルギーシステム**を導入し、平常時はエネルギー管理によるエネルギーコストの削減を図り、停電時には重要施設部分への電力供給や分散型避難所として対応するほか、CO2削減効果等の有効性を検証するなどの取組を支援。

北海道ゼロカーボンビレッジ

【需給一体型エネルギーシステムの形成】

市町村を中心に地元企業やNPOなどが参加して、地域に賦存する豊富な新エネルギーや、既に需要家がある太陽光発電、電気自動車など多様な分散型エネルギーリソースをIoT技術により組み合わせさせて市町村単位や街区単位、複数の公共施設、民間施設などで面的に活用するなど、**需要と供給が一体となった取組**を支援。

■ **新**洋上風力発電導入加速化推進事業

【経済部 予算額：13,988 千円】

「再エネ海域利用法」に基づく促進区域指定に向け、関係市町村における住民説明会や漁業者等との意見交換会を開催するとともに、系統に関する研究会等を開催

■ **拡**新エネルギー導入促進支援事業

【経済部 予算額：32,000 千円】

地域における新エネルギー導入の一層の加速化を図るため、事業の掘り起こしと事業計画等の策定における支援や地域の事業計画に対する認定・アドバイス、支援制度・取組成果のPR等を実施

■ **拡**新エネルギー設備等導入支援事業

【経済部 予算額：380,000 千円】

地域が主体となって行う新エネルギー導入と、合わせて行う新エネルギー導入の効果を増大させる省エネルギー導入等を支援

○設計支援

新エネルギー設備の設計費に対する補助

補助率：1 / 2 補助限度額：5,000 千円

○設備導入支援

新エネルギー設備等導入費に対する補助

補助率：1 / 2 補助限度額：50,000 千円

※モデル横展開については、最長2カ年度、補助限度額は総額1億円

○地熱井掘削支援

地熱井の掘削費に対する補助

補助率：2 / 3 補助限度額：50,000 千円

○地域資源活用基盤整備支援

発電事業者の送電線整備等の導入に対する支援

補助率：1 / 2 補助限度額：10,000 千円（売電による収益納付を要件）

■ **継**地域新エネルギー導入調査総合支援事業

【経済部 予算額：22,096 千円】

地域に賦存するエネルギー資源を活かした新エネルギーの導入を促進するため、導入構想の策定や新エネルギービジョン等に基づいた具体的な導入可能性調査を支援

■ **継**地域づくり総合交付金

【総合政策部 予算額：4,580,000 千円の枠内】

地域活性化等を目的として市町村等が行う脱炭素化の取組を支援

(2) 振興局の取組

■ 14 振興局の取組

振興局自らが地域との連携・協働のもと、地域の特性に応じたゼロカーボンの取組を推進

14振興局の取組（47事業）

ZERO CARBON HOKKAIDO

<p>【宗谷総合振興局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども鉄道乗車体験事業 てっぺん宗谷deポストコロナ観光地づくり推進事業 	<p>【上川総合振興局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「上川版ZC」推進事業 ZC促進型農業生産基盤整備支援事業 大雪山協働型登山環境改善事業費ほか2事業  	 <p>※北方領土：縮尺縮小</p>
<p>【留萌振興局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ZCるもい機運醸成事業 和ofライツリズム推進事業 活用の木（機）は熟した！！「るもい」の豊かな森林資源循環利用推進事業ほか 6事業 	<p>【空知総合振興局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空知スマート農業推進・人材強化事業 そらち流「安・近・炭」観光推進事業 	<p>【オホーツク総合振興局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携推進オホーツク活性化事業 流水トラスト加速化プロジェクト 脱プラ・着モク！脱炭素化促進事業ほか2事業 
<p>【後志総合振興局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代農業者育成・後志モデルICT省力化技術支援事業 リゾート施設・公共住宅向け後志産木材活用促進事業 	<p>【日高振興局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ひだか！元気！！応援!!!プロジェクト 日高山脈襟裳国定公園及びアポイ岳ジオパークの魅力発信事業 日高水産物生産持続対策 	<p>【根室振興局】</p> <ul style="list-style-type: none"> サクラマス陸上養殖試験事業
<p>【石狩振興局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いしかりstyle」プラスワン観光推進事業 いしかり・ライフstyle魅力発信・若者定着促進事業ほか 4事業 	<p>【胆振総合振興局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ゼロカーボン北海道」実現のための胆振アクション2022 いぶり人材育成・産業活性化推進事業 	<p>【釧路総合振興局】</p> <ul style="list-style-type: none"> くしろ木造畜舎促進プロジェクト外事業 知る・学ぶ・動く ZC北海道in釧路推進事業 
 <p>大里ウインドファーム</p>	<p>【渡島総合振興局】</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなで広げる木づかいプロジェクト！ プリの活用連携促進事業 渡島の多様性を活かした“次世代を支える農業労働力確保”推進事業 	<p>【十勝総合振興局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 十勝・持続可能な観光スタイル推進事業 十勝ZC推進事業 

(3) 地域の相談対応

■ 振興局ゼロカーボン推進室【総合振興局・振興局】

各振興局に対外的な窓口として「地域ゼロカーボン推進室」を設置

■ 省エネ・新エネ促進・関連産業振興ワンストップ窓口【経済部】

省エネ・新エネの促進や関連する産業の振興を図るため、地域企業の省エネの促進や新エネの導入等に関する相談などに対応する窓口を各（総合）振興局に設置。

■ ゼロカーボン建築技術支援事業【建設部】

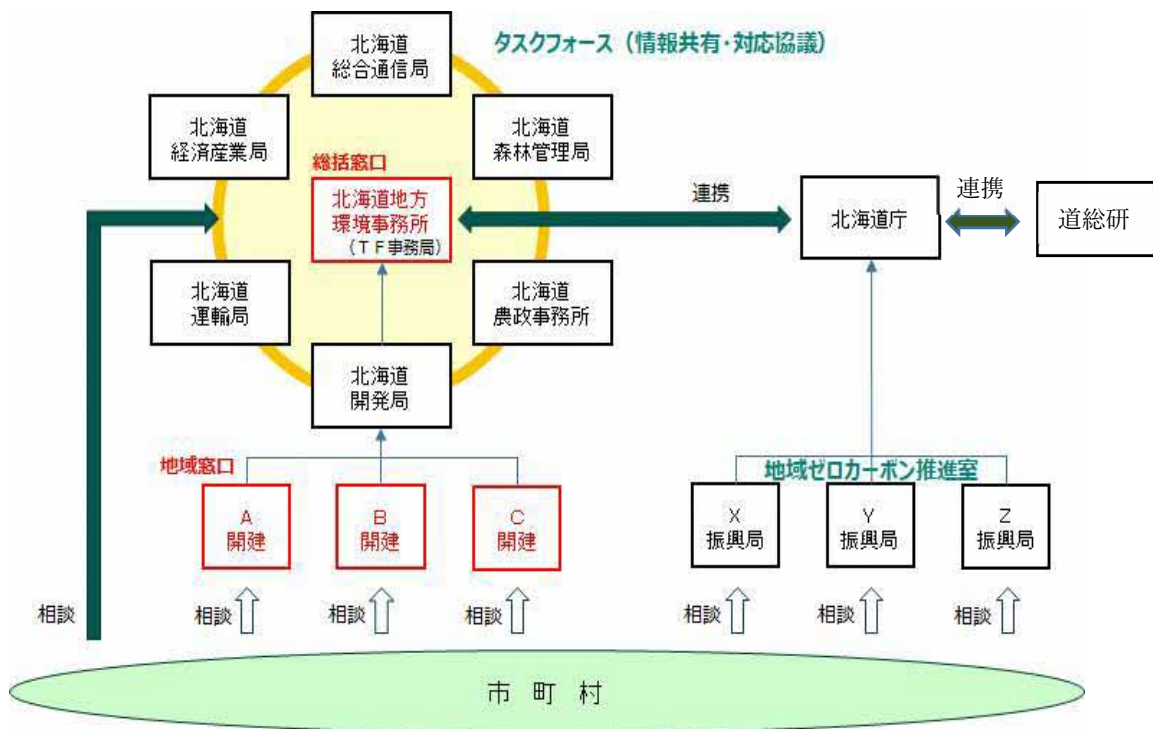
道と道総研が連携し、市町村有施設のゼロカーボン化などの相談対応や人材派遣など技術的支援

■ 北海道気候変動適応センター【環境生活部】

道総研や関係機関との連携のもと、気候変動への適応に関する相談対応を行う

■ ゼロカーボン北海道タスクフォース「ゼロ北テラス」【国】

国の地方支分部局によるゼロカーボン北海道タスクフォースが相談窓「ゼロ北テラス」を設置し、国の補助事業等の紹介や技術的助言を行う



II 道民・事業者への働きかけ

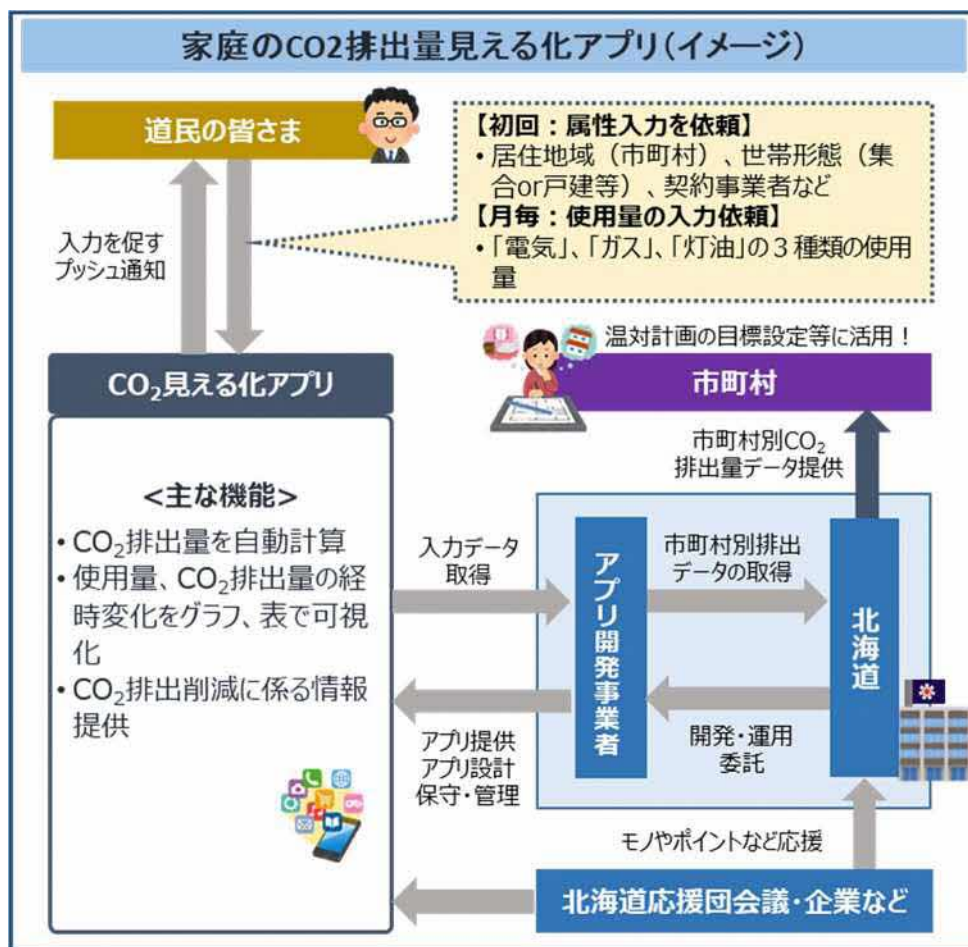
- CO2排出量の見える化等の実践を呼びかけ、道民・事業者の行動変容などを促進

(1) 道民・事業者への脱炭素の取組促進

■ 新 CO2排出量の「見える化」事業

【環境生活部 予算額：37,430 千円】

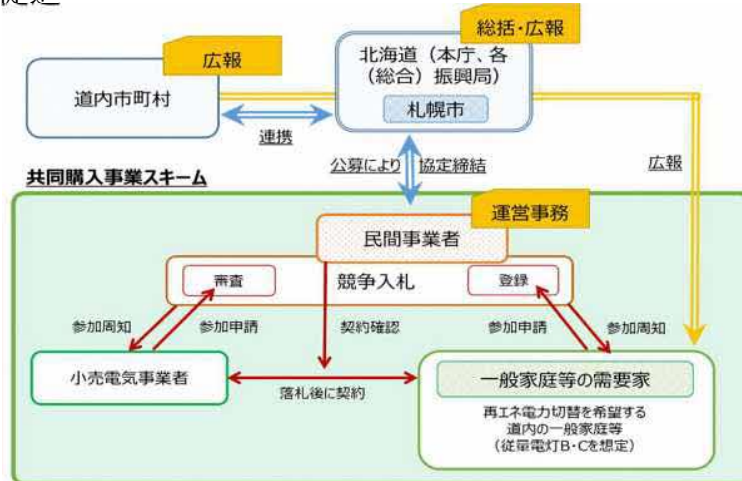
- 各家庭からの二酸化炭素を「見える化」するためのアプリを開発し、道民に利用してもらうことにより、行動変容を促すとともに、そのデータを活用することにより市町村単位での排出量算定を精緻化
- 民間事業者が自らの活動に伴う CO2 排出量を算定し、WEB 上で公表する「北海道排出量ボード」を作成し、事業者の脱炭素意欲を醸成



■ 新 民生部門における再生可能エネルギー利用拡大促進事業費

【環境生活部 予算額：4,964 千円】

家庭・事業所への再エネ由来電力の共同購入事業等を通じた再エネ利用の拡大を促進



■ 新 ゼロカーボン北海道チャレンジプロジェクト 【環境生活部】

道民・事業者のライフスタイル・ビジネススタイルの転換につながる取組を広く呼びかけ、できることから取組を実践してもらうこととし、特に、「CO₂の見える化」、「廃棄物削減」、「森林」、「教育」を重点プロジェクトとして実施

「ゼロカーボン北海道チャレンジプロジェクト」

① CO₂排出量を知ろう！

取組概要 各家庭のCO₂排出量を見る化するアプリを作成し、道民に利用を呼びかけ、CO₂排出量を見る化する各企業のCO₂排出量をわかりやすく公表する排出量ボードを作成、道ホームページ等を通じて公表

② プラスチックごみの削減、マイボトルを持ち歩こう！

取組概要 北海道SDGs推進プラットフォームと連携したマイボトルエコアクションの取組促進、マイボトル写真の投稿・コンテストの実施
道民へ広く3Rの普及啓発を促進、パネル展、子ども達への環境教育、海洋プラスチック削減に向けて海や川の清掃活動を実施

③ 木を植えて、育てて、楽しもう！

取組概要 企業や行政等が主催する植樹・育樹イベントへの参加を道民に広く呼びかけ。道立公園等での植樹、記念日に苗木等プレゼント
CSR活動等として森林づくりを希望する企業等と森林所有者をマッチング

④ 環境の未来について考えよう！

取組概要 教育庁等と連携して、高校の探究学習のテーマにゼロカーボンを選択してもらうよう取組を周知
ゼロカーボンの理解を深めたい生徒には勉強会や企業取材の場の提供、優秀な取組には表彰を実施

参加へのインセンティブ

団体・企業の協力によるノベルティ提供

優良な取組に対する表彰

■ **拡**脱炭素社会に向けた行動変容促進事業

【環境生活部 予算額：10,957 千円】

行動科学の知見(ナッジ等)を活用した効果的な情報発信手法の構築を行い、道民の行動変容を促進

(2) **事業者への脱炭素の取組支援**

■ **新**省エネルギー促進総合支援事業

【経済部 予算額：62,722 千円】

省エネセミナー等による普及啓発や先駆的な省エネの取組を実施する民間事業者等を支援

■ **新**カーボンニュートラル加速化先導モデル構築事業

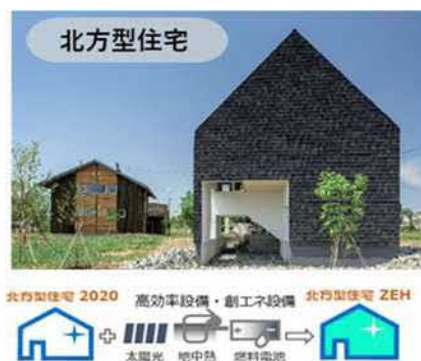
【経済部 予算額：20,434 千円】

道内企業のカーボンニュートラルに向けたプランづくりを支援し、産業界のカーボンニュートラル化への取組を促進

■ **拡**住宅の省エネ・省 CO2 推進事業

【建設部 予算額：40,561 千円の内数】

新築・既存住宅の省エネルギー性能向上と ZEH 化を推進



■ **継**環境・エネルギー産業総合支援事業

【経済部 予算額：66,577 千円】

環境・エネルギー産業に係るマーケティング、開発支援、道内外への販路拡大など、様々なビジネスの段階において一貫した取組により総合的に支援

■ **継**循環資源利用促進事業

【環境生活部 予算額：1,039,203 千円】

リサイクルのための設備機器の整備や研究開発等への支援やプラスチックごみリサイクルの調査や多量排出事業者への支援を実施

■ **継地域課題解決支援に向けた海外からの投資促進事業**

【経済部 予算額：22,322 千円】

ゼロカーボンやグリーンなどの世界的に成長が期待される分野をターゲットとして、その分野の海外投資家からの投資を呼び込むため、プロモーションや招聘などを実施

■ **継道市連携海外展開推進事業**

【経済部 予算額：5,300 千円】

A S E A N、中国市場をターゲットに、ゼロカーボンやDXなど世界共通の課題解決に資する道内企業が有する技術・ノウハウの海外展開を促進することで、道内企業の販路拡大やイノベーションを促進

(3) 道発注工事における取組

■ **新北海道インフラゼロカーボン試行工事【建設部,農政部,水産林務部】**

来年度に公告する道発注工事等において、受注者からゼロカーボンに資する工事現場の意欲的な取組の提案を受け、実施した取組が確認できた場合は、「工事施行成績評定」で加点評価

「**ゼロカーボン北海道**」の実現に向けて、道内建設業における、**脱炭素への機運の醸成**を図ることを主な目的として、「**北海道インフラゼロカーボン試行工事**」の実施を予定。

【取組内容】

受注者から「**ゼロカーボン北海道**」に資する工事現場の意欲的な取組について提案を受け、取組を実施・確認できた場合は、「工事施行成績評定」で加点評価する。

【試行概要】

- ＜適用対象＞ 建設部、農政部、水産林務部所管工事
令和4年4月1日以降公告の工事
(契約済み工事についても協議により試行可能)
- ＜公 告＞ 公告文、入札説明書、特記仕様書に試行対象工事であることを明記。
(※詳細については検討中)
- ＜契 約 後＞ 取組を希望する場合、提案様式に明示し、実施前に提出。
- ＜取組実施後＞ 取組を確認できた場合は、**工事成績評定において加点**。
(社会特性～地域への貢献 1点)

【次年度以降】

- 意欲的な取組事例を収集し、その中から効果の高い取組事例を北海道開発局等と共有。
- 取組状況を勘案し、評価の基準の底上げをしながら、より効果的な取組としていく。

【期待する取組例】

- 低燃費型建設機械や低炭素型建設機械を使う
- 工事現場や事務所の電力を再生エネルギー由来電力で賄う
- 重機の燃料をバイオディーゼル燃料(BDF)にする など

(4) 事業者への表彰制度等

■ **新**ゼロカーボン食品表彰

【経済部 予算額：1,183 千円】

道内食品産業における脱炭素化を促進するため、ゼロカーボンに貢献する道産食品や道内食関連事業者の取組を表彰

■ **継**北海道ゼロ・エミ大賞

【環境生活部 予算額：81 千円】

廃棄物及び二酸化炭素の発生・排出抑制の取組を行っている模範的な事業者を表彰

■ **継**省エネ・新エネ促進大賞

【経済部 予算額：217 千円】

エネルギーの効率的利用に貢献した企業・個人を表彰

■ **新**ゼロカーボン・チャレンジャー

【環境生活部】

脱炭素化に向けた取組の実践を宣誓する事業者を「ゼロカーボン・チャレンジャー」に登録、道が積極的に PR

III 農林水産業の排出源・吸収源対策

- 本道の基幹産業である1次産業の様々な個性を活かし、脱炭素の取組や吸収源対策を推進

(1) 農業分野の取組

- **拡**オーガニック農業普及・販路拡大推進事業

【農政部 予算額：6,304 千円】

有機農業への新規参入・転換促進、販路開拓や理解促進

- **継**持続可能な農を支えるクリーン農業促進事業

【農政部 予算額：2,723 千円】

クリーン農業の一層の普及拡大を図るため、栽培技術指導や生産者への啓発、YES!clean 表示制度の普及啓発等への支援



北海道安心ラベル

(2) 林業分野の取組

- **新**クリーンラーチ幼苗安定確保対策事業

【水産林務部 予算額：10,603 千円】

CO2 吸収能力や成長に優れた優良種苗であるクリーンラーチ苗木の供給拡大を図るため、新たな育苗技術の検証や、生産者の育苗技術の向上による増産体制の構築



- **新**木質バイオマスゼロカーボン推進事業

【水産林務部 予算額：6,759 千円】

木質バイオマスのエネルギー利用を促進するため、木質バイオマスボイラー

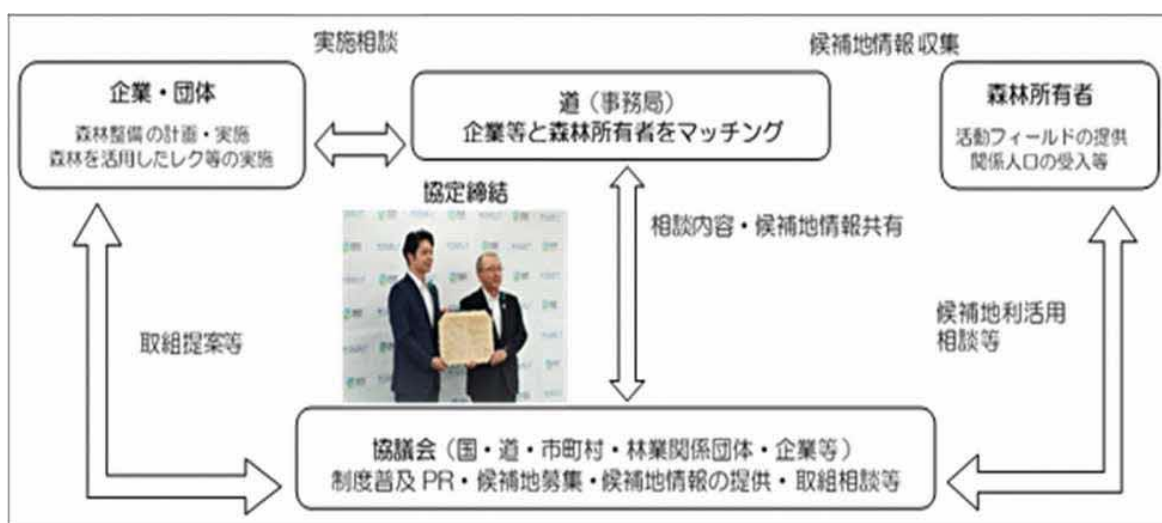
の導入支援や林地未利用材の効率的な集荷に向けた技術研修を実施



■ **新** ほっかいどう企業の森林づくり推進事業

【水産林務部 予算額：10,063 千円】

企業等による森林づくりを推進するため、環境保全に関心がある企業等とフィールドを提供する森林所有者のマッチングを実施



■ **継** 森林整備事業

【水産林務部 予算額：15,941,833 千円】

※令和3年度補正（国経済対策・令和4年度への繰越）分を含む予算額

森林の有する多様な機能を発揮させるため、植林や間伐等の森林整備や林道など林内路網の整備を推進

■ **継** 豊かな森づくり推進事業

【水産林務部 予算額：682,000 千円】

森林の有する多様な機能を発揮できる豊かな森林づくりを推進するため、森林所有者が計画的に実施する植林を支援

■ **継** HOKKAIDO WOOD 推進事業

【水産林務部 予算額：77,291 千円】

道産木材「HOKKAIDO WOOD」の利用促進に向けて、道外、海外における展示会などでのプロモーション活動や木造建築物を推進するための設計・施工技術者等の育成を図る取組を実施



(3) 水産業分野の取組

■ 新漁業系廃棄物リサイクル促進事業

【水産林務部 予算額：10,000 千円】

漁網等の漁業系廃棄物の焼却処分から排出される CO2 の排出抑制のため、廃漁網等のリサイクルに関する実証試験を行い、マニュアルを作成・活用したリサイクルを促進

■ 拡環境・生態系保全活動支援事業

【水産林務部 予算額：46,907 千円】

ブルーカーボンに資する藻場・干潟の保全や生態系の維持・回復など、漁業者等が行う水産業の多面的な機能を発揮させるための取組を支援

<藻場の保全>



<漁場の清掃>



<干潟の調査>

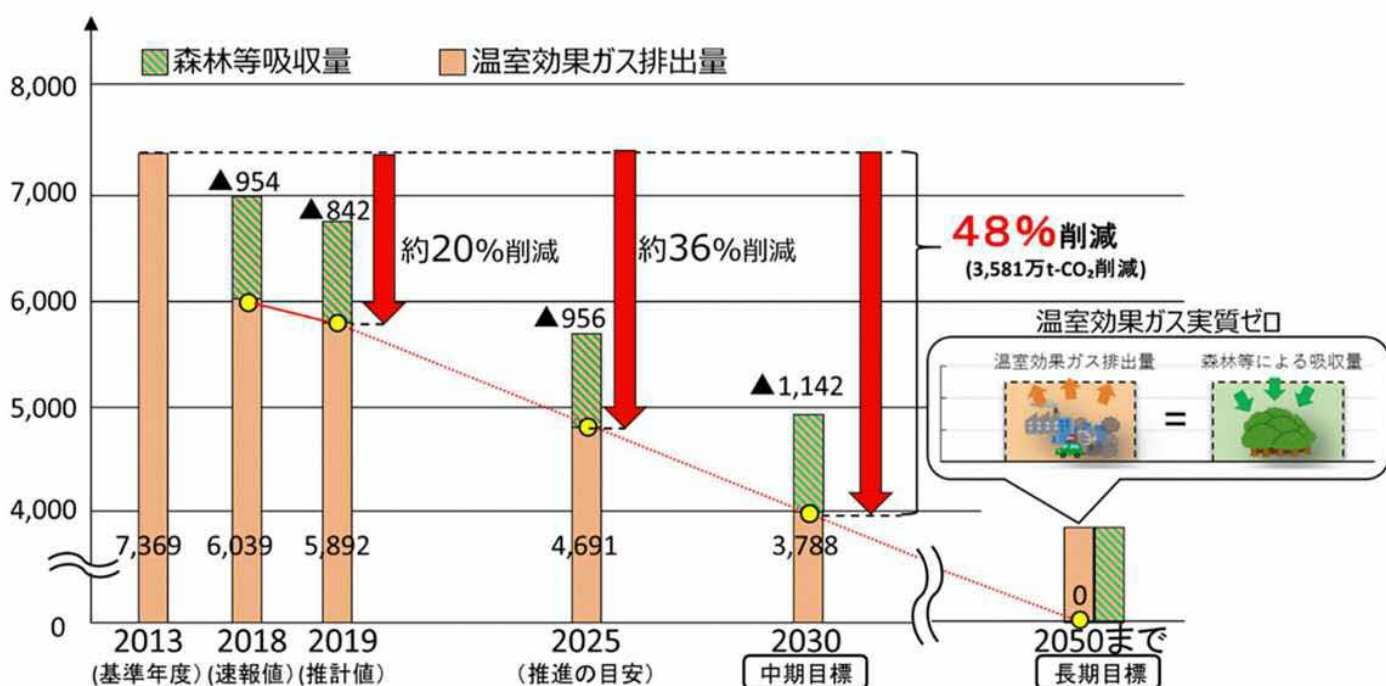


IV 計画・条例の見直し

○ 計画的かつ総合的にゼロカーボンを推進するための枠組み構築

■ 北海道地球温暖化対策推進計画の目標の見直し

国の新たな削減目標（46%削減）の表明、地球温暖化対策推進法の改正などの情勢変化を踏まえ、現在の削減目標を2013年度比で48%削減を目指す



■ 北海道地球温暖化防止対策条例の全面見直し

温対法改正、道や国のゼロカーボン宣言など条例制定後の国内外の脱炭素の動きの加速化を踏まえて所要の改正を検討

V 道有施設・設備の脱炭素化

○ 2030年50%削減（2013年度比）に向けた道の率先行動

(1) 公用車の次世代自動車化

■ 新カーシェアリング・V2Bの活用

【環境生活部 予算額：87,732千円】

EV車と再エネ発電設備を導入、外部開放型のカーシェアリングを試行

■ 新FCVの導入

【環境生活部 予算額：23,725千円】

再エネ電力×EV/FCV×公用車

ゼロカーボンドライブ



再エネ×電気自動車 V2Bシステム

渡島総合振興局

再エネ×電気自動車 脱炭素型カーシェア

檜山振興局

再エネ×燃料電池自動車 FCVの導入・利用

胆振総合振興局

【電気自動車（EV）＋ソーラーカーポート】
太陽光パネルで発電した再エネ電力をEVに充電

【燃料電池自動車（FCV）】
水素で発電しモーター駆動

充放電機器を介して庁舎へ給電可能

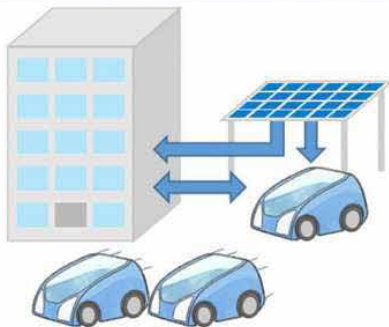
【地域のレジリエンス向上】

避難所等で非常用電源として活用可能

・EVを3台導入し、駐車中のEVを蓄電池として運用するV2Bシステムの導入

・シェアリング事業者が、平日は道へ、土、日、祝日等は地域住民へ貸出

・FCVの率先利用
管内自治体とシェアリング



【新エネルギー導入加速化基金活用】

(2) 道有施設の脱炭素化

■ 新太陽光パネルの導入【環境生活部】

道有施設に民間事業者が太陽光パネルを設置し、電気料金を支払う形で再エネ電気を利用

■ 新再エネ由来電力の調達【環境生活部】

再エネ比率等を明記した一般競争入札の試行や電力のリバースオークションを試行（競り下げ方式）

■ 新太陽光パネル設置可能性調査

【環境生活部 予算額：12,000千円】

道有施設を対象に施設の耐荷重や自家消費に適した設備規模等の調査を実施し、可能な施設から随時太陽光パネルを設置

■ 新ZEBモデルの整備

【総務部・建設部 予算額：8,851千円】

北海道消防学校にてモデル的に整備



■ **新**空港 LED 灯火導入事業

【総合政策部 予算額：48,000 千円】

道管理空港における灯火を LED 化

■ **新**ゼロカーボン北海道アクション【環境生活部】

職員の率先実行として、「誰でもできる！今からできる！ゼロカーボン北海道アクション！！」を通年実施

■ **継**愛別ダム堰堤改良事業（電気機械設備工事）

【建設部 予算額：87,414 千円】

小水力発電の発電効率向上に向けた設備更新

VI 産学官による研究開発

○ **道総研等と連携した脱炭素に資する研究開発を実施・支援**

■ **新**ゼロカーボン地域プロジェクト支援事業【再掲】

【経済部 予算額：355,000 千円】

実用化目前の新エネ技術の地域への導入などの取組などを支援

■ **新**脱炭素畜産技術導入推進事業

【農政部 予算額：2,400 千円】

畜産分野における温室効果ガスの削減に向けたセミナーの開催やメタン（牛ゲップ）の発生を抑制する飼料に係る調査等を実施

■ **新**カラマツ類及びトドマツの種苗配置適正化と優良品種導入による炭素吸収量増加効果の評価

【道総研 予算額：6,000 千円】

道内の主要造林木であるカラマツ類及びトドマツ人工林を対象に炭素吸収量の1割増加を目標とした再造林法を研究

■ **新**持続可能な施設園芸のための環境制御技術の高度化

【道総研 予算額：9,500 千円】

エネルギー使用量が多い花き加温作型において、環境制御技術を組み合わせた高効率な栽培管理技術を開発

- **継**地域特性に応じた再生可能エネルギー供給と省エネ技術の社会実装
【道総研 予算額：20,000 千円】
地域特有の課題を踏まえた再エネ利用拡大と省エネ化の技術開発を実施
- **継**ゼロカーボンの実現に向けた北方型住宅に関する研究
【建設部 予算額：40,561 千円の内数】
道総研と連携し北方型住宅 2020 の普及や ZEH の技術開発を実施
- **継**水素関連産業化促進事業
【経済部 予算額：19,117 千円】
本道における水素関連産業の形成促進を図るため、国の実証誘導や道内企業の参入促進に向けた取組を促進
- **新**道内炭層エネルギー等利活用促進事業費
【経済部 予算額：10,500 千円】
環境負荷の低減に資する新たな道内炭の活用方法に関する研究の促進や研究動向などに対する道民への理解促進

VII 適応の取組

○ 気候変動適応に関する情報提供、理解促進を図る

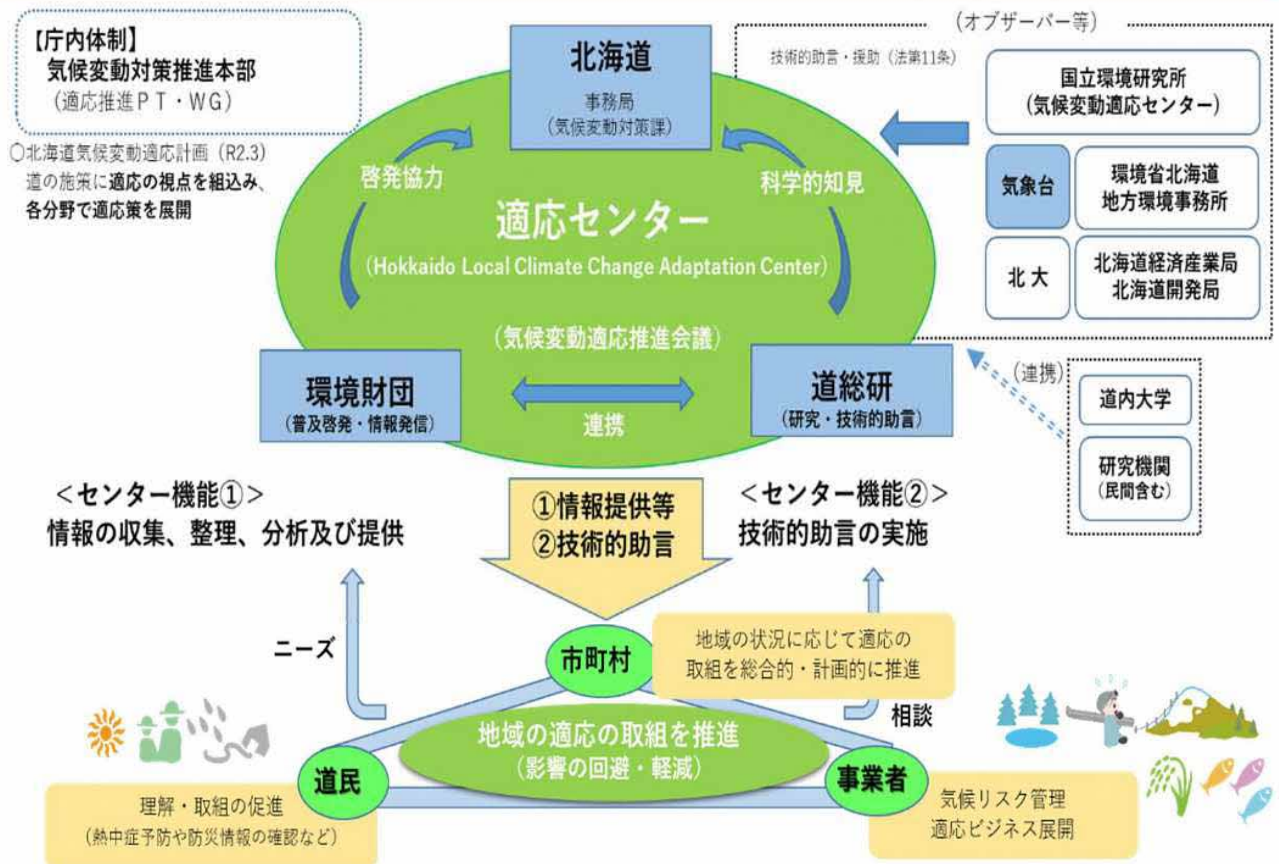
■ 〔拡〕「北海道気候変動適応センター」の運営

【環境生活部 予算額：5,480 千円】

道総研・国環研・北大など研究機関等と連携し、適応に関する情報・相談のワンストップ窓口等を推進

北海道環境生活部ゼロカーボン推進局気候変動対策課／北海道気候変動適応センター

北海道気候変動適応センターの体制と機能



参考 「グリーン」 × 「デジタル」 の取組

○ 再生可能エネルギー活用の「次世代データセンター」の誘致と

関連産業の集積

■ **新**次世代自動車部品等参入促進事業

【経済部 予算額：4,248 千円】

道内ものづくり企業の次世代自動車部品等の開発・生産への参入に向けた支援

■ **継**データセンター集積推進事業

【経済部 予算額：31,763 千円】

再生可能エネルギーを活用するデータセンターの誘致を展開するとともに、関連産業の集積を促進

■ **継**ものづくり産業におけるグリーン・デジタル推進事業

【経済部 予算額：25,584 千円】

脱炭素や DX に関するセミナー等を実施し、次世代自動車等の環境配慮型産業の販路拡大・人材育成の取組を推進

■ **継**自動運転車開発拠点化促進事業

【経済部 予算額：9,484 千円】

自動運転に係る展示会への出展、現地視察会の実施、積雪寒冷対応システムの活用検討等を実施